

16149TK

2016年10月27日

三菱商事・JOIN・西日本鉄道・阪神電気鉄道とともに合弁会社を設立 インドネシア共和国における複合開発事業へ参画します

京浜急行電鉄株式会社（本社：東京都港区，社長：原田 一之，以下 京急電鉄）は，インドネシア・ジャカルタ郊外で，日系企業連合の1社として，インドネシアにおける不動産デベロッパ最大手の1社である Sinarmas Land 社（以下 SML社）傘下の Bumi Serpong Damai 社（以下 BSD社）と共同で，複合開発事業（以下 本プロジェクト）に参画します。

本プロジェクトは，ジャカルタ中心部から南西約 25 km のジャカルタ郊外で，BSD社が進める 5,950ha の大規模都市開発 Bumi Serpong Damai 地区（以下 BSD地区）の一角において，戸建て住宅および商業施設（店舗付住宅）を複合開発する事業です。約 19ha の敷地内に計約 1,000 戸の戸建て住宅および商業施設（店舗付住宅）を供給する計画です。

京急電鉄は，三菱商事株式会社，株式会社海外交通・都市開発事業支援機構（以下 JOIN），西日本鉄道株式会社および阪神電気鉄道株式会社とともに日本国内に合弁会社を設立し，BSD社との共同で現地プロジェクト会社を設立のうえ，同現地会社により本プロジェクトを推進いたします。

ジャカルタでは，堅調な経済成長と人口増加による中心市街地の地価高騰および交通渋滞を背景とし，近年，都心から郊外へと都市・住宅開発が広がっています。BSD地区はイオンモール等の大型商業施設，インドネシア最大級のコンベンションセンター等の都市機能が順次開発・整備されており，ジャカルタ郊外において最も注目されているエリアの一つです。

本プロジェクトは，京急電鉄が今まで培ってきた郊外型都市開発のノウハウを展開し，BSD地区の更なる価値向上と公共交通機関との連携を活かした豊かな住環境供給の提供に寄与する事業です。また，京急線沿線人口の減少への対応策として，海外不動産事業展開のノウハウの蓄積および海外不動産事業の継続の是非を検討してまいります。

詳細は別紙のとおりです。

別紙

インドネシア共和国における複合開発事業への参画について

1. 事業概要

- (1) 所在 インドネシア共和国バンテン州南タンゲラン市BSD地区の一部
- (2) 面積 約19ha
- (3) 計画戸数 戸建て住宅および商業施設（店舗付住宅）（計約1,000戸）
- (4) スケジュール 着工・販売開始 2017年から順次（予定）
- (5) 位置図



出典：外務省 HP より引用

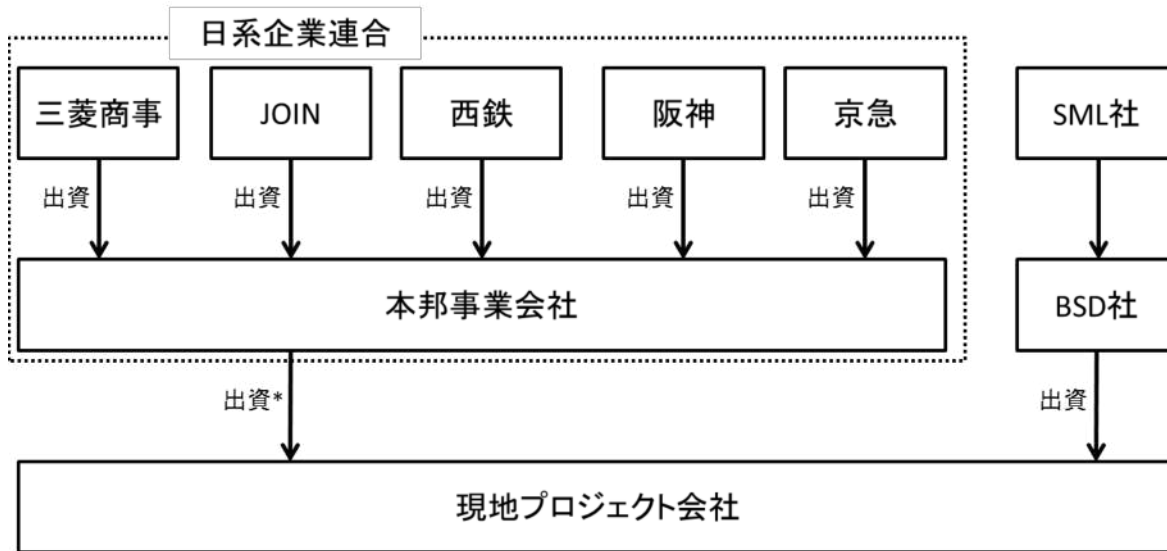


出典：Open Street Map より作成

(6) 完成イメージ



(7) 事業スキーム



*本邦事業会社による出資は過半。また、総額は最大約100億円。

<参考>

【SML 社概要】

社名:Sinarmas Land Ltd.

設立:1994 年

本社:シンガポール

事業内容:インドネシア並びに海外(英国、中国、ASEAN)での不動産開発・保有事業

【BSD 社概要】

社名:PT. Bumi Serpong Damai

設立:1984 年

本社:バンテン州 タンゲラン県

事業内容:Sinarmas Land の中核子会社でインドネシアにおける不動産事業を担う

以 上